

樺山都議が急死



発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-23-1 TSビル

(総務・読者) 03-5330-8781

(企画広告) 03-5330-8784

(編集) 03-5330-8786

(制作) 03-5330-8786

(出版) 03-5330-8788

(ファクス) 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2011

号外

詳しくは5日付の都政新報で

与野党逆転 省エネ条例可決



省エネ条例案の採決は記名投票となった＝1日、午後6時ごろ



急死した樺山氏

自民党都議の樺山卓司氏(5期・葛飾区選出)が1日未明、自宅兼事務所にて急死した。63歳だった。警視庁では自殺の可能性が高いとみている。都議会自民党では、政調会長や予算特別委員会委員長、監査委員などを歴任。人懐っこい性格で多くの人たちから「かばちゃん」の愛称で親しまれていた。死去に伴い、都議会の与野党の勢力図は、再逆転する結果になった。

4月の杉並補選で自民候補が勝利し、本会議採決では議長を除くと、自民党、公明党、日本創新党で63、民主党、共産党、生活者ネットなど野党が62となり、第18期都議会の残り2年間は与党が主導権を奪い返し、石原都政4期目は盤石で安定すると思われていた。そして、第2回

定例会では、これまで対決案件となっていた築地市場、新銀行東京の両特別委員会の存続、民主党が議員提出した「省エネルギーの推進・エネルギーの安定供給の確保に関する条例案」は、いずれも最終日に否決の運びとなるはずだった。

ところが、樺山氏の死去により、与野党とも62の同数となり、議長が採決に加わることで野党の主張が通る形で決着した。省エネ条例では、都が行動計画や総合計画を策定し、施策の推進を義務づけられる。

この日、自民党では、同志を突然失った悲しみが走り、緊急の役員会や総会を開催。本会議が始まったのは、午後4時45分だった。

7月1日は、現職都議の自殺という衝撃的な1日となり、与野党再逆転がスタートする波乱万丈の都政を予感させる1日となった。

都政新報購読
お申し込みは
03-5330-8781